

BUSINESS
REPORT

第 37 期 事業報告書

平成17年2月21日

平成18年2月20日

証券銘柄コード 8217



「第2の創業」となる新たな挑戦を推進し グループの更なる成長発展を目指します。



代表取締役社長 大桑 啓嗣

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、企業収益の改善による設備投資の増加、株価の回復等、緩やかではあるものの着実に景気回復に向け動き出しました。しかしながら、小売業界におきましては、企業間競争の激化による客数の減少および客単価の下落等、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況のなかで、当社グループは更なる成長発展に向けて、昨年来より「第2の創業」に取り組み、「規模の拡大」「業態の確立」「質の向上」の3つのキーワードに挑戦。「近畿で最も競争力の強いスーパーリージョナルチェーン」を目指して、時代のニーズに即した便利さと、お買い物の楽しさを提供する「驚きと感動」のある店舗づくりに努め、事業の更なるスピードアップをはかってまいります。

営業概況

スーパーマーケット事業を展開する㈱オークワは「既存店の更なる競争力強化と新業態店舗の成長発展に、全力を尽そう。」をスローガンに掲げ、既存店の競争力を更に高めるため、プライベートブランドおよびストアブランド商品の開発、仕入れコストの削減、一般管理費の削減を始めとする経営効率の向上に取り組みました。また、地域のお客様の利便性を高めるため、お買上げ商品をご自宅まで配達する「たすかる便」を本格導入したことに加え、IT改革にも積極的に取り組み、業界に先駆けセルフレジの導入店舗を15店舗にまで拡大いたしました。

新業態店舗につきましては、スーパーセンターオークワ南紀店、スーパーセンターオークワコスタモール二色の浜店の2店舗を新設し、『スーパーセンター』業態は合計4店舗となりました。また、『プライスカット』業態は18店舗まで拡大し、多様化する消費者ニーズに積極的に対応してまいりました。『メッサ』

■ 新店紹介



○ オー・ストリート橋本彩の台店



○ 和歌山中之島店

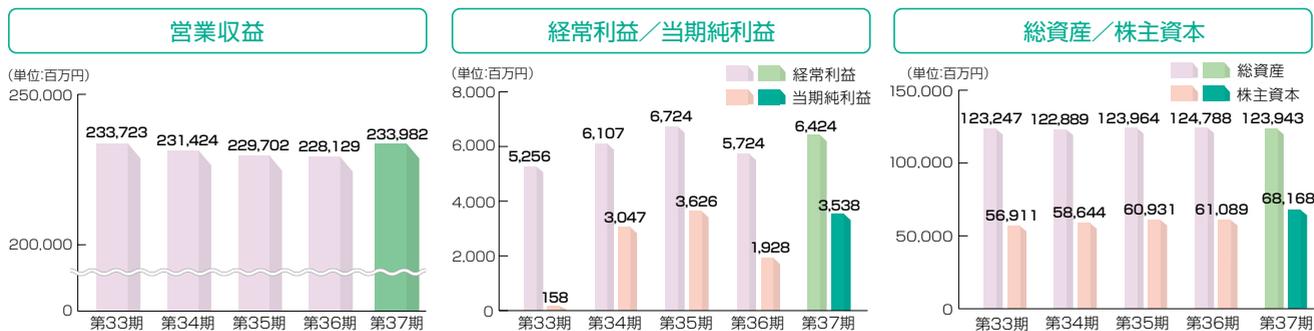


○ 泉佐野松風台店



○ 鈴鹿木田店

■ 連結業績の推移



業態につきましては、高品質スーパーとして新しい商品の開発を行い、他社との更なる差別化をはかってまいりました。

一方、当社の主力である『SSM(スーパー・スーパーマーケット)』業態では、オー・ストリート橋本彩の台店、和歌山中之島店、泉佐野松風台店、鈴鹿木田店を新設いたしました。なお、経営の効率化をはかるため、橋本隅田店、日昌店、旧プライスカット打田店、志摩店の4店舗を閉鎖いたしました。

また、連結子会社で外食事業を中心に事業展開する(株)オークフーズは、期中に3店舗を新設し、不採算の6店舗を閉鎖いたしました。

これらの結果、当期の当社グループの営業収益(売上高および営業収入)は2,339億82百万円(前期比2.6%増)、経常利益は64億24百万円(前期比12.2%増)、当期純利益は35億38百万円(前期比83.5%増)となりました。



○スーパーセンターオークワ南紀店



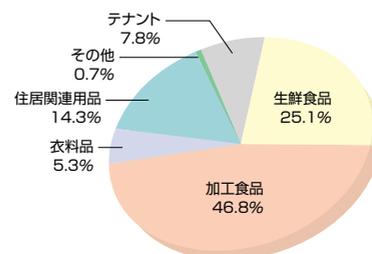
○スーパーセンターオークワ
コスタモール二色の浜店

今後の課題と展望

今後のわが国の経済情勢は、景気回復に向けての動きがあり、デフレ脱却の方向に動いておりますが、個人消費にとって先行き不安な要素もあり、不透明な状況で推移するものと思われます。こうした状況のなかで当社グループは、「質の向上・業態の確立・規模の拡大を目指して、リスクを恐れずたゆまずチャレンジしよう。」をスローガンに掲げ、コンプライアンスを始めとする企業としての質の向上や、各種業態の新規出店等に積極的に取り組み、規模の拡大を目指しながら、地域のお客様に愛されるお店であり続けるよう鋭意努力いたします所存でございます。

当社グループの次期の見通しは、営業収益(売上高および営業収入)2,430億円(前期比3.9%増)、経常利益73億円(前期比13.6%増)、当期純利益38億50百万円(前期比8.8%増)を見込んでおります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 商品別売上構成比(単体)



オークワを進化させる3つの「E」

近畿エリアのスーパー業界をリードする
最強のスーパーリージョナルチェーンを目指して

Establish【業態の確立】

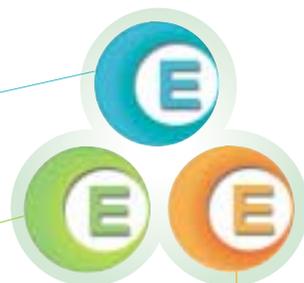
多機能複合型の大型店舗「スーパーセンター」、ローコスト運営の「プライスカット」、ハイグレード志向の「メッサ」など、多彩な業態を開発。変化に対応する新たなノウハウを確立し、差別化を図ります。

Elevate【質の向上】

東証・大証一部上場のブランドに相應の管理体制を確立し、品質管理、人材育成、社会貢献に尽力。高いクオリティを追求し、顧客満足度の高い商品、サービス、付加価値を開発・提供します。

Expand【規模の拡大】

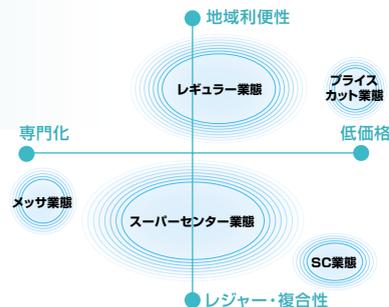
既存店の売上高上昇を機に、新規出店による高成長を目指します。さらに、M&Aなど多角的な事業戦略を展開。業務提携を積極的に推進し、収益力を向上。事業発展と企業価値の向上に努めます。



Establish【業態の確立】

多様な消費者ニーズに応じて、魅力ある業態を開発
目指したのは「また来たくなる」店舗づくり

社会や地域特性を見据えた多彩な業態を確立し、顧客満足度を高める、サプライズ（驚き）の提供と長く愛される付加価値の創出に努めています。



スーパーセンター業態

広大なワンフロアでワンストップショッピングを実現。日常生活の豊富なアイテムを低価格で実現した、オークワならではの業態です。



プライスカット業態

驚くべき低価格を実現したプライス・バリューの店舗。安価優先をコンセプトとし、効率性に重点を置いた運営を行っています。



メッサ業態

ワンランク上の食生活を提案する“高品質スーパーマーケット”です。レギュラー店にはない品揃えと高級感を演出した業態です。



SC（ショッピングセンター）業態

ショッピングからエンターテインメントまで幅広いサービスを提供。衣料、住居関連の新MD開発、効率的品揃えの充実に努めています。



レギュラー業態

売上が急速進展するSSM、地域利便性の高いSM（スーパーマーケット）は店舗改革を続け、より一層競争力を高めます。





新しい時代にふさわしいサービスの創造と 魅力あるブランドフェース

時代の変化に対応したシステムで質の高いサービスを心がけるとともに、安心・安全・美味を追求した魅力あるブランド商品を提供しています。



カード会員数約187万人(和歌山県民の2人に1人)



購入金額に応じてポイントが加算され、現金に還元できる「オーカード」と、クレジット・キャッシング機能を付加した「オーカードプラス」で固定ファンを獲得。2種類のカードの会員数は約187万人。和歌山県下においては2人に1人という驚きの入会率を誇っています。顧客データは徹底した個人情報管理のもとで、地域密着の店舗運営やFSP(優先顧客プログラム)の推進に役立てています。

オリジナル商品ブランド「オークワ食品工場」

オークワが志す「安心・安全・美味」を自社システムで追求したことへの思いをこめて、自社工場の名前をそのままブランド名にした商品です。原材料の厳しい選定に始まり、一つひとつの製造工程、製造後の梱包・配送まで、一貫体制で徹底した品質管理を行っています。オリジナルストアブランドのアイテムは300を超え、いずれも新鮮で良質、低価格という魅力的なヒット商品ばかり。安定した人気と信頼を獲得しています。



西日本初のオリジナルシステム「セルフレジ」導入



オークワは富士通との共同開発による「セルフレジ」を西日本で初めて売場に採用しました。これは、音声ガイドに従ってタッチパネル方式で、お客様自らが精算する商品の価格を確認しながら支払いができるシステムです。レジ待ち時間を解消し、よりスムーズなお買い物を実現する画期的な試みとして注目されており、新規出店・改装を機に導入を推進。利用者の固定化、効率化、省力化の面でも競合店と一線を画しています。

ニチリウとの共同開発によるPB「くらしモア」

オークワはプライベートブランド(PB)の開発にも力を注ぎ、業界トップクラスの流通機構で創立30年を超える「日本流通産業株式会社(ニチリウ)」とPB「くらしモア」を共同開発。チェーンストア14社・生活共同体3生協が加盟するニチリウのスケールメリットを活かし、安心してリーズナブルな品揃えを誇っています。ラインナップは食料品、衣料品、住居関連用品まで、その名の通り暮らしをより豊かにする商品ばかりです。





M&A (企業の買収・提携) を積極的に推進 相乗効果によって経営基盤をさらに強化します

異業種提携による商品と情報の活性化、同業種提携による経営資源の拡大という2つの強力な軸を得て、経営インフラ再構築によるスケールメリットを事業発展に活かしていきます。

地域ネットワークを強化する

食品スーパーの連携

営業力の強化を目指したM&A戦略として、オークワ発祥の地、和歌山を地盤に食品スーパーマーケットを展開する「ヒラマツ」と資本業務提携を結びました。経営の効率化、商品・ノウハウの共有、経営資源の最大活用で、相互の事業発展と企業価値の向上が望めます。これをモデルに、近畿エリアのスーパー業界でリーダーシップを発揮する企業を目指し、同業他社との連携による地盤強化を推進。大型チェーンや外資スーパーを凌ぐ勢力を堅持していきます。

ドラッグ分野における

PB商品の相互供給・商品拡充

食品スーパー業界とドラッグ業界という異業種間でのM&A、「マツモトキヨシ」との業務提携は、激化するスーパー市場競争の中でオークワの新たな可能性を引き出す戦略的プランといえます。現在、グループ全体では78店で展開しているドラッグ事業の、シナジー（相乗）効果に大きく期待できる取り組みです。今後は、情報交換と商品の相互供給をはじめ、物流の共有化、システムの共同利用を図り、互いの強みを活かしたマネジメントを行っていきます。



地域社会への貢献と 環境保全活動

オークワのもうひとつの顔、それは地域の発展を支えるベストパートナーとしての役割です。企業の発展は地域からの信頼なくしてはありえません。和歌山で誕生したオークワは、近畿エリアのみならず、安心・安全な暮らしの実現に向けて大きな使命を果たしていきます。

オークワ災害緊急備蓄センター

和歌山県をはじめ、奈良県、三重県などと協力し、災害時には被災地域の緊急物資・救援物資確保に努めます。和歌山県との間では災害物資調達の協定を結び、災害時には最高1,000万円相当の救援物資（食料品・日用品・衣料品など）を無償で提供します。



資源の有効活用と省資源活動

資源の再利用や省資源への取り組みは企業使命であるとオークワは考えます。再資源化に向けては、店舗回収BOXによるリサイクル活動、店舗における廃棄物の多種類分別化を実施。省資源化については、トレイ包装の削減、お買物袋持参運動などを推進しています。



大桑教育文化振興財団の設立

オークワの創業者である故・大桑 勇が、地域の皆様にご恩返しをするために、平成5年9月、私財を投じて設立した財団です。毎年約3,500万円を奨学金・援助金・寄附金の形で社会に還元。教育文化の振興を通じて、地域社会の発展に寄与するよう努めています。



■ 連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

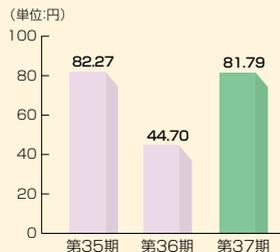
	第37期	第36期	第35期		第37期	第36期	第35期
(単位：百万円)	平成18年2月20日現在	平成17年2月20日現在	平成16年2月20日現在	(単位：百万円)	平成18年2月20日現在	平成17年2月20日現在	平成16年2月20日現在
流動資産	19,509	17,373	18,200	流動負債	40,664	47,815	43,575
現金及び預金	7,768	6,316	5,498	支払手形及び買掛金	10,396	9,931	10,409
受取手形及び売掛金	789	685	554	短期借入金	16,540	19,580	16,690
有価証券	149	149	149	一年以内返済予定長期借入金	2,799	2,542	3,867
たな卸資産	8,696	8,146	9,857	未払法人税等	1,407	888	1,475
繰延税金資産	758	780	904	未払消費税等	297	421	258
その他	1,352	1,299	1,236	その他	9,223	14,451	10,875
貸倒引当金	△4	△4	△1	固定負債	15,110	15,884	19,456
固定資産	104,433	107,415	105,764	長期借入金	6,313	7,115	9,837
有形固定資産	75,507	77,645	74,996	繰延税金負債	297	-	-
建物及び構築物	43,805	43,721	43,365	退職給付引当金	678	816	1,086
機械装置及び運搬具	339	351	504	役員退職慰労引当金	200	234	239
器具及び備品	2,651	1,863	2,148	債務保証損失引当金	200	200	200
土地	28,607	28,604	28,830	預り保証金	7,036	6,772	7,225
建設仮勘定	102	3,104	146	長期未払金	263	557	868
無形固定資産	4,401	4,501	4,897	その他	120	186	-
投資その他の資産	24,524	25,268	25,870	負債合計	55,774	63,699	63,032
投資有価証券	5,934	4,855	4,335				
長期貸付金	11	8	9	少数株主持分			
差入保証金	16,595	17,720	19,113	少数株主持分	-	-	-
繰延税金資産	45	407	164				
その他	2,116	2,413	2,382	資本金	14,117	14,117	14,117
貸倒引当金	△178	△136	△135	資本剰余金	15,040	14,027	14,027
資産合計	123,943	124,788	123,964	利益剰余金	38,177	35,585	34,667
				株式等評価差額金	994	363	158
				自己株式	△161	△3,004	△2,039
				資本合計	68,168	61,089	60,931
				負債、少数株主持分及び資本合計	123,943	124,788	123,964

■ 連結財務諸表 (要約)

連結損益計算書

(単位:百万円)	第37期	第36期	第35期
	自平成17年2月21日 至平成18年2月20日	自平成16年2月21日 至平成17年2月20日	自平成15年2月21日 至平成16年2月20日
営業収益	233,982	228,129	229,702
売上高	226,110	219,743	220,142
売上原価	167,726	161,438	160,448
売上総利益	58,383	58,304	59,693
営業収入	7,872	8,386	9,559
不動産賃貸収入	3,678	2,631	2,457
その他の営業収入	4,193	5,754	7,102
営業総利益	66,256	66,691	69,253
販売費及び一般管理費	59,758	60,910	62,322
営業利益	6,497	5,780	6,930
営業外収益	486	553	545
受取利息	43	56	61
持分法による投資利益	3	-	-
その他	439	496	484
営業外費用	559	610	752
支払利息	395	418	488
持分法による投資損失	-	14	70
その他	164	176	193
経常利益	6,424	5,724	6,724
特別利益	77	93	1,647
特別損失	379	1,960	1,687
税金等調整前当期純利益	6,122	3,857	6,685
法人税、住民税及び事業税	2,331	2,222	2,715
法人税等調整額	252	△294	343
当期純利益	3,538	1,928	3,626

1株当たり当期純利益(連結)



1株当たり株主資本(連結)



要約連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第37期
	自平成17年2月21日 至平成18年2月20日
(単位:百万円)	
税金等調整前当期純利益	6,122
減価償却費	5,411
その他	190
小計	11,724
法人税等の支払額	△1,998
その他	△305
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,420
固定資産の取得・売却による増減	△8,666
その他	1,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,299
借入金の借入れ・返済による増減	△3,584
その他	2,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△669
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増加額	1,451
現金及び現金同等物の期首残高	5,544
現金及び現金同等物の期末残高	6,996

連結剰余金計算書

科 目	第37期
	自平成17年2月21日 至平成18年2月20日
(単位:百万円)	
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	14,027
資本剰余金増加高	1,013
自己株式処分差益	1,013
資本剰余金期末残高	15,040
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	35,585
利益剰余金増加高	3,538
当期純利益	3,538
利益剰余金減少高	946
配当金	941
取締役賞与金	5
利益剰余金期末残高	38,177

■ 単体財務諸表 (要約)

単体貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	第37期	第36期	第35期	(単位：百万円)	第37期	第36期	第35期
	平成18年2月20日現在	平成17年2月20日現在	平成16年2月20日現在		平成18年2月20日現在	平成17年2月20日現在	平成16年2月20日現在
流動資産	19,229	17,161	15,325	流動負債	39,392	46,573	40,280
現金及び預金	7,447	6,113	4,321	買掛金	10,336	9,861	9,818
商品	8,684	8,123	8,147	短期借入金	15,440	18,480	14,640
その他	3,097	2,924	2,856	一年以内返済予定長期借入金	2,799	2,542	3,828
固定資産	102,707	105,881	104,372	その他	10,816	15,690	11,993
有形固定資産	74,908	76,992	73,908	固定負債	14,838	15,920	19,344
建物	39,668	39,869	39,365	長期借入金	6,313	7,115	9,837
土地	28,607	28,604	28,830	預り保証金	7,149	6,914	7,269
その他	6,632	8,518	5,712	その他	1,374	1,890	2,237
無形固定資産	4,339	4,439	4,817	負債合計	54,230	62,494	59,624
投資その他の資産	23,458	24,449	25,646	資本金	14,117	14,117	14,117
投資有価証券	5,230	4,170	4,429	資本剰余金	15,040	14,027	14,027
差入保証金	16,285	17,355	18,668	資本準備金	14,027	14,027	14,027
その他	1,943	2,923	2,548	その他の剰余金	1,013	-	-
資産合計	121,936	123,042	119,698	利益剰余金	37,715	35,044	33,814
				利益準備金	1,314	1,314	1,314
				その他の剰余金	36,400	33,729	32,499
				株式等評価差額金	994	363	153
				自己株式	△161	△3,004	△2,039
				資本合計	67,706	60,548	60,073
				負債及び資本合計	121,936	123,042	119,698

単体損益計算書(要約)

(単位：百万円)	第37期	第36期	第35期
	自平成17年2月21日 至平成18年2月20日	自平成16年2月21日 至平成17年2月20日	自平成15年2月21日 至平成16年2月20日
営業収益	232,094	222,183	219,814
売上高	224,111	215,120	213,000
売上原価	167,482	159,417	156,865
売上総利益	56,628	55,703	56,135
営業収入	7,982	7,063	6,813
営業総利益	64,611	62,766	62,949
販売費及び一般管理費	58,085	57,014	56,281
営業利益	6,526	5,751	6,667
営業外収益	491	578	875
営業外費用	545	567	645
経常利益	6,473	5,763	6,897
特別利益	73	142	1,646
特別損失	341	1,760	1,603
税引前当期純利益	6,204	4,145	6,940
法人税・住民税及び事業税	2,328	2,210	2,630
法人税等調整額	259	△306	205
当期純利益	3,617	2,240	4,104
前期繰越利益	1,997	1,967	5,941
自己株式処分差損	-	-	97
中間配当額	470	471	439
当期末処分利益	5,144	3,736	9,508

利益処分

科目	第37期
(単位：百万円)	
当期末処分利益	5,144
圧縮記帳積立金取崩額	5
特別償却準備金取崩額	36
合計	5,186
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	586
取締役賞与金	7
別途積立金	2,400
次期繰越利益	2,193

(注) 1. 圧縮記帳積立金の取崩し及び特別償却準備金の取崩しは、租税特別措置法の規定に基づくものであります。

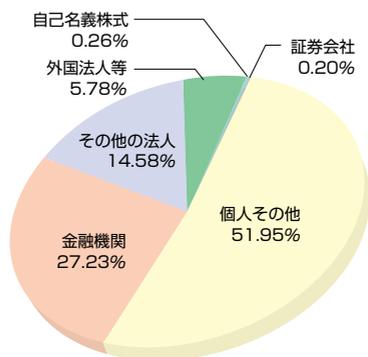
2. 平成17年11月7日に470百万円(1株につき11円)の中間配当を実施いたしました。

企業データ

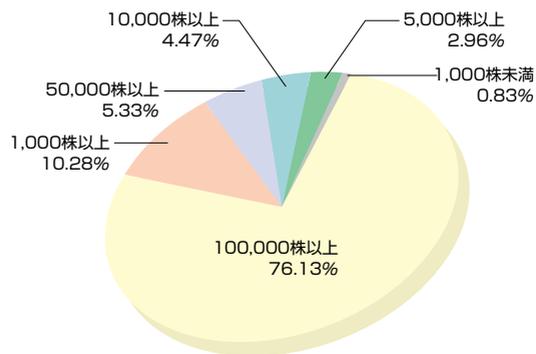
株式の状況 (平成18年2月20日現在)

発行可能株式総数 ————— 159,605,000 株
 発行済株式の総数 ————— 45,237,297 株
 株主数 ————— 4,833 名

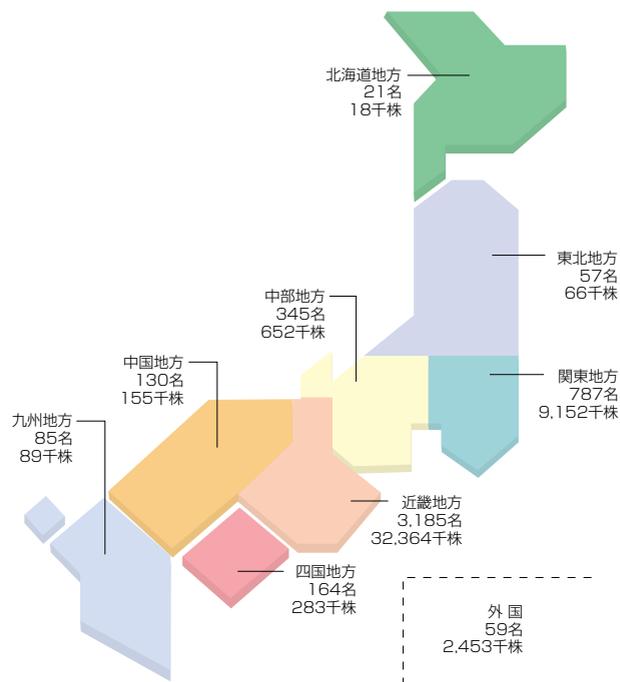
所有者別分布状況



所有株別分布状況



株式の地域別分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
大桑 晴嗣	4,160千株	9.42%
大桑 啓嗣	3,280千株	7.43%
大桑 祥嗣	3,212千株	7.28%
大桑 俊男	3,166千株	7.17%
住友信託銀行株式会社	1,990千株	4.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,638千株	3.71%
財団法人 大桑教育文化振興財団	1,520千株	3.44%
オークワ共栄会	1,498千株	3.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,330千株	3.01%
株式会社紀陽銀行	1,323千株	2.99%

株主メモ (株主のご案内)

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月20日 期末配当金 毎年2月20日 中間配当金 毎年8月20日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部

会社概要 (平成18年2月20日現在)

社名	株式会社オークフ
創業	昭和13年5月
会社創立	昭和34年2月27日
会社設立	昭和44年2月21日
資本金	141億1,749万円
本社所在地	和歌山市中島185番地の3 TEL.(073)425-2481 (代)
従業員数	1,669名(社員) 6,159名(パートタイマー)8時間換算
事業内容	システムによるチェーンストア経営 食料品、酒類、米類、家庭用品、住居用品、室内装飾品、 DIY、レジャー用品、スポーツ用品、家庭電化製品、 化粧品、医薬品、カメラ、衣料品の販売、DPE
店舗数	和歌山、大阪、奈良、三重に129店舗



重要な連結子法人等の状況

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)オークフーズ	472	100.0	ファミリーレストラン等の飲食業



役員 (平成18年5月18日現在)

代表取締役会長	大 桑 清 嗣
代表取締役社長	大 桑 啓 嗣
常務取締役	坪 田 健 治
常務取締役	福 西 拓 也
取締役	塩 谷 俊 夫
取締役	福 住 哲 也
取締役	今 井 啓
取締役	神 吉 康 成
取締役	大 桑 祥 嗣
取締役	大 桑 俊 男
常勤監査役	大 塚 和 彦
監査役	永 栄 靖 生
監査役	勝 田 仁 康
監査役	津 田 幸

株主優待制度

当社では毎年2月20日現在の株主名簿に記載のある1,000株以上の株式を所有されている株主様を対象に株主優待制度を実施しております。

- 権利確定日 …… 2月20日
- 発送予定 …… 5月

※右記は平成18年2月期株主優待品です。

ご所有株式数1,000株以上で

『高級紀州梅干詰合せ(うす塩味・小梅 250g)』を贈呈いたします。



ご所有株式数5,000株以上で

『高級紀州南高梅 美濃焼詰合せ(田舎漬・しそ漬 各250g)』を贈呈いたします。



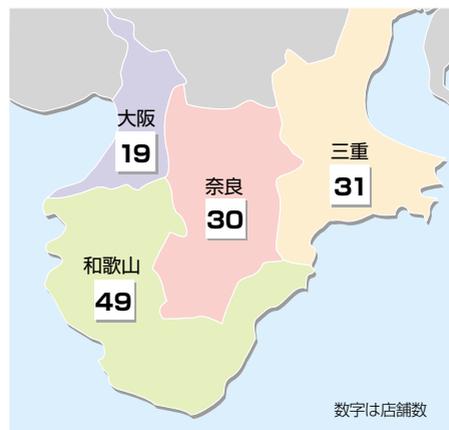
情報満載のホームページ

オークワのホームページでは、商品情報や店舗情報はもちろん、オンラインショッピングや各種キャンペーンのお知らせ、オークワ食品工場内見学など、充実のメニューでアクセスをお待ちしています。



詳しくは <http://www.okuwa.net/> をご覧下さい。

店舗	店舗数129店(平成18年2月20日現在)
本社	和歌山市中島185番地の3
和歌山物流センター	和歌山市大垣内字沢633番地
関流通センター	三重県亀山市関町市瀬1番地の1
みはま食品工場・流通センター	三重県南牟婁郡御浜町阿田和字賀松3514
泉佐野流通センター	大阪府泉佐野市住吉町2番地の4
和歌山食品工場	和歌山市吐前字坊り1043番地
奈良食品工場	奈良県大和郡山市池沢町224番地
和歌山食品センター	和歌山市大垣内字沢621番地の1



OKUWA

本社 〒641-8501 和歌山市中島185番地の3 TEL.(073)425-2481(代)

※上記店舗以外に本社・食品工場・食品センター・物流センター



この事業報告書は100%古紙再生紙と植物性大豆インキを使用しています。